



# 本 庄

## ロータリークラブ会報

### 率先しよう

No.44-37 第2142回 例会 4月 19日 2007年 5月10日 発行

2006~07 年度 国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド 第2570 地区 ガバナー 鈴木勲二

会長 渋谷修身 会長エレクト 岡崎正六 副会長 下山正男 副会長 立石秀壽 幹事 佐藤賀則

#### 《本日の例会》

雑 誌 月 間  
卓 話  
「臓器移植の現状」  
埼玉医科大学病院臓器移植センター  
堀野いずみ 様

進 行 茂木 聡 SAAチーフ  
点 鐘 午後 1 2 時 3 0 分 渋谷修身 会長  
ソング 「それでこそロータリー」  
「四つのテスト」  
来訪者 埼玉医科大学病院臓器移植センター  
堀野いずみ 様  
本庄市役所国際交流係長 中田敬一 様  
国際交流協会会長 茂木多美子 様  
上里 RC 木村達夫 様・丸山眞司 様  
丸木啓亘 様・小林正人 様

#### 〔会長の時間〕

#### 渋谷修身 会長



本日は大勢のお客様に来て頂きましたのでご紹介致します。  
埼玉医科大学病院臓器移植センター堀野いずみ様  
国際交流協会会長茂木多美子様  
本庄市役所国際交流係長中田啓一様

上里ロータリークラブ・木村達夫様 丸山眞司様  
丸木啓亘様 小林正人様です。

本日はお忙しい所、本庄ロータリークラブ例会においで下さいまして有難うございました。  
堀野様には後程卓話をお願いいたします。茂木様と中田様には国際奉仕委員会の事業計画となっております、国際交流協会との共同事業にご協力

頂きまして有難うございました。後程ご挨拶を頂くことになると思いますので、宜しく願いいたします。

上里ロータリークラブ様には、今年度色々お世話になりました。本日は広報とお礼の為に来訪いたしました。これも後程時間を取りたいと思います。

さて、先日 14・15 日の地区大会に参加された皆様、お疲れ様でした。地区大会に於いて、昨年度の会員増強優秀クラブとして、当クラブが第 1 位と言う事で表彰されました。又、昨年度ガバナー補佐として加藤玄静会員が表彰されました。それから 4 月 2 日に行われました「地区大会記念チャリティゴルフ大会」に於いて、当クラブは団体 4 位に入りました。個人では、最高位が石原修会員の 9 位でした。又、下山正男会員がニアピン賞を 1 つ取りました。以上地区大会の報告をいたしました。

地区大会が終わりますと、いよいよ今年度がほぼ終わったような感じになりますが、まだ、今日を含め幾つかに事業が残っております。最後までご支援ご協力の程宜しく願いいたします。

#### 〔幹事報告〕

#### 佐藤賀則 幹事



- ・ 上里 RC より 5 月 5 日ダンスフェスティバル開催の案内を頂きました。チケットをご希望の方は申し出てください。
- ・ 2007 イースタンリーグ公式戦グッドウィル VS 巨人の

- チケットをご希望の方は申し出てください。
- ・ 第 13 号「Let's ぼらんていあ」が届いております。
- ・ ロータリー米山記念奨学会ニュース・館報が届いております。
- ・ 地区大会の資料をお持ち帰りください。

## 〔挨拶〕

上里ロータリークラブ 木村達夫 様



皆さん今日は。ご紹介を頂きましたが、来る5月5日に上里RC恒例の第17回ダンスフェスティバルを開催いたしますので、宜しくお願いいたします。

上里ロータリークラブ 丸山眞司 様



4月8日に実施されました県会議員選挙では皆様方大変お世話になりました。お蔭様で当選させて頂きました。心から厚く御礼申し上げます。

これからもご指導の程宜しくお願い申し上げます。

〔お礼の挨拶〕 矢島淳一 次年度幹事



先日私の母が92歳で他界いたしました。葬儀の際にはお手伝い、又ご会葬頂きまして、クラブの皆様方には大変お世話になりました。有難うございました。

## 国際奉仕委員会事業発表 進行 国際交流協会理事

高柳育行 社会奉仕委員長



ただいまより本庄市国際交流協会の茂木会長、秘書広報課の中田国際交流係長をお迎えし、本庄市国際交流協会で発刊しました「本庄市暮らしのガイド」の報告を始めさせていただきます。本日は国際奉仕委員長の橋本会員が所要で出席できないため、橋渡しをしました社会奉仕委員長の高柳が進行させていただきます。

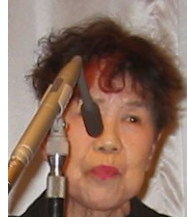
以前は本庄市国際交流協会に市から相当の助成金があり、それをもとに市内に在住している外国人向けのガイドマップ等を製作してまいりました。しかし市の財政状況も思わしくなく、助成金を削減された結果、外国人向けの「暮らしのガイド」の発刊ができなくなってしまいました。そこで本庄ロータリークラブ、埼玉県宅地建物取引業協会本庄支部が助成金をだして発刊することになりました。現在本庄市には2500人以上の外国人が住んでおり、特にポルトガル語圏と中国語圏の人の割合が高くなっております。そこでその2カ国

語の「暮らしのガイド」を、国際交流協会の会員に翻訳のお手伝いをいただき、先月末に完成することができました。

この事業は国際奉仕委員会の事業として、地域に在住している外国人向けに製作しましたが、このような冊子は日本人と外国人が共に仲良く生活していくうえで重要であると思っております。会員のご理解とご協力のもとで出来たわけでありますので、改めてご報告とお礼を申し上げます。

## 〔挨拶〕

国際交流協会会長 茂木多美子様



この度は多額のご寄付を頂き立派なガイドブックが出来ました。

昨年12月末、本庄市の在住する外国人が2547名です。その中でポルトガル語圏と中国語圏の方が多いため、この冊子が出来ました。大変詳しく書いてありますので、新しく本庄市へお見えになった外国人の方にはとても気強い冊子になったと思います。皆様のお世話になり、本当に感謝申しあげます。

本庄市国際交流も今年11年目に入りました。本庄市役所の職員やいろいろな方の協力により年々発展しております。イベントに参加頂く人数も増え、本庄市が住み良い町だと言って頂いております。今、世界では各地でテロがありますが、私達は仲良く手を携えて楽しく生活して行きたいと思っております。これからも国際交流協会を宜しくお願いいたします。ご支援くださいますよう宜しくお願いいたします。



本庄市役所秘書広報課

国際交流係長 中田啓一 様



この度は本庄ロータリークラブ様、宅建協会本庄支部様のご協力を頂き、立派な「暮らしのガイド」を発行させて頂く事が出来まして、有難うございました。

本庄市在住外国人が本庄市全人口の約3%で、埼玉県内でも人口比率から5番目となっており、今後益々増える事が予想されます。外国籍住民と本庄市民が交流を深め、共生出来る社会が実現出来る様に国際交流協会も事業を展開して参りたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

## 例会プログラム

### ★アイバンク委員会 中村 孝 委員長



今年の献眼登録も20名を越え、皆様には大変お世話になっております。

今日はアイバンクという事に留まらず、各種臓器の移植と言う事で当委員会から講師をお招きして卓話を頂く事になりました。

講師紹介は春山会員からお願いいたします。

### 春山茂之 アイバンク副委員長



アイバンク総会で堀野さんのお話を聞き大変感銘を受けました。当クラブでは是非お話を頂く機会を持ちたいと思っておりました。宜しくお願いいたします。

#### 堀野いずみ様プロフィール

1995年3月 埼玉医科大学短期大学看護科卒業

1995年4月 埼玉医科大学付属病院第1外科勤務

2005年5月 埼玉県移植コーディネーター就任

## 卓 話

### 「臓器移植の現状」

#### 埼玉医科大学病院臓器移植センター

#### 埼玉県移植コーディネーター

#### 堀野いずみ 様



まず、腎臓についてお話します。

みなさん御存知だと思いますが、腎臓は私たちの身体の中に2つあります。ソラマメの種子のような形をしており、成人の腎臓

の大きさは握りこぶしくらいで、重さは約150gほどです。

腎臓の働きには、大きく分けて2つの働きがあります。尿を作るといふことと、ホルモンを作る働きがあります。

尿を作る働きというのは、老廃物の排泄、体内の水分量の調節、塩分の電解質の濃度調節、体液の酸性・アルカリ性の調節をしています。また、造血ホルモンを作ったり、血圧の調整、ビタミンDの活性化をしています。その働きが悪くなった状態を腎不全と言います。

腎不全とは、さまざまな原因により腎臓の働きが著しく低下して体内の老廃物や水分、塩分が排

泄できなくなった状態で、尿毒症とも呼ばれています。腎不全になると、むくみや貧血を生じ、高血圧になることが多く、尿量が減少します。放置しておくと、尿毒症により深い昏睡に陥り死亡いたします。

腎不全になる原因としては、慢性糸球体腎炎や糖尿病、膠原病などがあります。妊娠をきっかけに腎不全になることもあります。腎不全になってしまった場合の治療法には、透析療法と、腎臓移植があります。

透析療法には、血液透析と腹膜透析があります。血液透析を行なう場合、透析を始める前に、腕などに動脈と静脈をつなぎ合わせた血管を作ります。1週間に2回から3回通院して、一回約4時間の透析を受けます。

腹膜透析の場合、透析を始める前に腹腔内に透析を行なうための管を挿入します。一日に3回から4回のバッグの交換を行ないます。通院は月に1度になりますが、それ以外は自己管理をしなくてはなりません。それぞれメリット、デメリットがあります。

血液透析は、30年以上の実績を持つ確立した医療であり、年齢、性別などの条件に関わりなく誰でも受けられる治療です。でも、水分や食事の制限があり、1週間に2回から3回と透析を受けなければいけないため、時間の拘束があります。また、透析に伴う合併症もあります。小児の場合、発育障害が起こります。

腹膜透析は、残腎機能を保持しやすく、通院は月に1回となりますので、通院による時間的拘束が少なくなります。また、社会復帰がしやすくなります。デメリットとして、1日約4回のバッグ交換が必要となりますし、腹腔内にカテーテルを挿入していますので、感染症や合併症を起こすことがあります。また、腹膜機能が低下した場合は、血液透析や腎臓移植に治療方針を変更します。もう一つの治療法は腎臓移植です。

腎臓移植には、親族、親や子供、配偶者やきょうだいから腎臓を提供してもらう生体腎移植と、亡くなられた方から提供していただく献腎移植があります。

腎臓移植のメリットは、食事の制限がゆるくなります。社会復帰がしやすくなり、また、女性の場合は妊娠、出産が可能となります。小児の場合は発育障害が改善されます。しかし、移植は提供者がいなければ行なえない医療です。また、移植後は一生免疫抑制剤を飲まなければいけません。

生体腎移植の場合は、提供者のリスクがあります。おととしの統計になりますが、2005年の腎移植件数です。全国で、腎移植は994件行なわれました。うち、834件は生体腎移植です。これは全体の83.9%にあたります。

献腎移植は、去年は179件行なわれましたので、おととしより若干増加していますが、生体腎移植に比べると、はるかに少ないというのがわかります。

移植医療は提供者がいなければ成り立ちません。普通の生活が出来ていると感じている人たちがほとんどであるということがわかります。献腎が少ない現状では、生体腎移植に頼らざるを得ません。では、どんどん生体腎移植をすればいいか？という、決してそうではありません。

生体腎移植では、ドナーのリスクが発生します。本来健康であるドナーに対して、危険率がゼロではない全身麻酔を行わなければなりません。また、移植した腎臓が拒絶反応により機能しない場合もあり、提供者と移植者が身近な存在であるため、お互いに精勤的苦痛が生じます。たとえば、お母さんが自分の子供に腎臓を提供して、昨日が出現しなかった場合、「私の腎臓が悪かったせいで移植がうまくいかなかった・・・」と後悔してしまいます。また、ドナーは残された腎臓に異常が起きた場合には、自分が透析になることも覚悟しなければいけません。

2007年4月2日現在の移植希望登録者の統計です。献腎移植を希望して日本臓器移植ネットワークに登録している方は全国で約1万2千人いらっしゃいます。現在、透析人口は21万人を超えたとされています。その中で献腎移植を希望して等速されているのは数%です。埼玉県では、637人の方が登録されています。

埼玉県内の登録者の年齢・性別に見た統計です。また、献腎移植はどこの病院でも出来るわけではありません。移植が出来るのは、埼玉県内ではこの5施設だけです。移植希望者は自分が移植を受ける施設を選び、登録をいたします。そして、提供者が発生したときに、レシピエント（受腎者）選択基準に基づいて移植候補者が選択されます。前提条件というのは、必須ということです。さらに、優先順位というのは、この4つの項目でそれぞれに点数がつき、その点数の高い人から順に第1候補となるわけです。搬送時間と言うのは、地域のポイントということです。県内での提供では、なるべく県内の方に移植が受けられるようになっています。

埼玉県の臓器提供数です。提供件数は大体年間2件から3件ほどです。ですので、移植を受けられた方は年間4人から6人となります。

全国の臓器提供件数です。

2006年は102件の提供があり、179人の方が移植を受けました。

移植を受けた人たちの待機日数は平均5286日約1.4年となっています。言い換えれば、1.4年待たなければ移植を受けることができないということになります。それが今の日本の現状です。

移植後の状況は、179件のうち、162件、90%が生着して機能が発現しています。残念ながら亡くなられた方が3名、移植後に機能が廃絶してしまった方が14件となっています。

これは、去年移植を受けた人たちのアンケートではないのですが、移植後の方たちへ行なったアンケートの結果です。

腎臓・肝臓・心臓と、臓器によって多少の差はありますが、共通していえることは、移植後は、ほ

ぼ普通の生活が出来ていると感じている人たちがほとんどであるということがわかります。

少し話しを変えます。皆さん、意思表示カードはもうご存知だと思いますが、よく、ドナーカードと言われるのですが、実はそうではありません。

臓器提供に関する自分の意思を表示するカードです。その理由は、

カードの裏の内容をご覧ください。提供する、提供しないの、どちらの意思も表示できるからです。ですので、提供したくないという意思をお持ちの方は、3番に丸を付けて持っていていただければいいと思います。

カードについて少し説明させていただきます。

1番は下線が引いてあるところ、“脳死判定に従い、脳死後”と表現があります。1997年に臓器の移植に関する法律が施行されて、脳死下臓器提供が出来ることになりました。しかし、今の日本の法律では、この言葉が入った書面による意思表示と、本人の署名がないと、意思表示が有効とはみなされません。

家族の署名は必須ではありません。でも、万が一そういう状況になった場合に、“聞いてなかった。知らなかった。”と家族が迷わないように、自分の意思を伝えて、話し合いがされていることが望ましいと思います。脳死下での臓器提供は、本人の意思表示と家族の承諾の両方が必要となっています。

2番に関しては、心臓が止まった後に提供する、という意味ですが、これは、先ほどの1番とは違って、心臓停止後の腎臓提供は本人の意思が不明でも、家族の承諾だけで出来ます。ただし、本人が拒否の意思を表示していた場合、家族の承諾があっても提供はできません。

臓器移植に関して、私たちには4つの権利があります。

提供する、しない、移植を受ける、うけない 私たちは自分で選ぶことが出来ます。

実際の臓器提供について少しだけお話させていただきます。

これは、発症から退院までを示したものです。通常でしたら、関わるのも、医師、看護師となりますが、臓器提供ということが入ってくると、移植コーディネーターや移植医という関わりが増えることになります。また、臓器提供に関する説明は医師ではなく、移植コーディネーターが行いません。臓器摘出の承諾書はコーディネーターしか取ることが出来ません。そして、死亡確認後、手術室にて摘出手術を行います。臓器提供を希望する家族の気持ちとしては、身体の一部でも生きていて欲しい、生きていた証が欲しい、本人の意思を生かしてあげたい、社会の役に立ちたい、という言葉をよく聞きます。一方で、臓器提供をするということは、どういうことが起こるのか、自分たちがどうなるのか？という漠然とした不安を持っています。家族が、臓器提供について正しい知識を得て、臓器提供をするかしないかを意思決定するために、私たちは正しい情報を提供すること

が必要です。いいことばかりを言って提供を勧めるのではなく、提供をするということは、実際にどのような状況になるのかを伝え、そのうえで、家族に意思決定をしていただくということです。臓器提供を承諾されたご家族に対して、私たち移植コーディネーターは、提供意思を尊重し、成就する、移植につなげる役割を担っています。提供後はドナーに対して、厚生労働大臣から感謝状が出されますので、時期を見てご家族にお届けしています。また、レシピエントが書いたサンクスメッセージなどもお渡ししています。これは、移植を受けた子供が、提供された家族に感謝の気持ちを書いた手紙です。

最後に世論調査について少しだけお知らせいたします。2年に一度、臓器移植に関する世論調査を内閣府大臣官房政府広報室が行なっています。去年の11月に行なった結果の一部をお知らせいたします。意思表示カードの所持率は7.9%でした。臓器提供をしたいと思いませんか？という質問に対しては、42%の人が「はい」と答えています。家族が臓器提供を希望した場合、70.8%の人が賛成すると答えています。また、心臓停止後の腎臓提供が家族の承諾だけで出来ることを知っていたのは、27.4%でした。ですから、私たちはもっと臓器提供に関する正しい知識を伝えていかなければいけないと思っております。

最後に皆さんにお願いがあります。まず、臓器提供に関する自分の意思を表示してください。そして、そのことについてご家族と話し合ってください。よろしくお願いいたします。



**〔ニコニコボックス〕 塚越 茂 委員長**  
(順不同・敬称略)

本日はアイバンクの卓話です。埼玉医科大学病院臓器移植センター堀野いずみ様宜しく願いいたします。  
(同文にてご投入頂きました)

渋谷修身 佐藤賀則 金子 弘 岩淵富男  
中島高夫 田中 克 萩原達夫 塚越 茂  
加藤玄静 戸谷 丈 茂木 聡 中村 孝  
野澤章夫 渋谷健司 小此木昭二 竹並栄一郎

春山茂之  
移植コーディネーターの堀野いずみさん、本日は卓話ありがとうございます。

上里ロータリークラブ  
第17回ダンスフェスティバルよろしくお願いいたします。

丸山眞司(上里 RC)  
お世話になります。

渋谷修身  
上里RCのメンバーの方々、本日はメーキャップに来て頂きありがとうございます。

本日は上里ロータリークラブの皆様ようこそいらっしゃいました。  
(同文にてご投入頂きました)

武井包光 岡崎正六 矢島淳一 井下 典  
山田喜一 下山正男

本日は国際交流協会・茂木多美子様、本庄市役所国際交流係長・中田啓二様 ようこそいらっしゃいました  
(同文にてご投入頂きました)

渋谷修身 今泉憲治 三宅健吉 岩本英人  
石原輝弥 高柳育行 立石秀寿 五十嵐敦子  
戸谷清一

斉藤清一  
早退します。

**本日投入金額合計 37,000円**

〔出席報告〕

渋谷健司 委員長

(敬称略)



会員数	出席免除 会員数	出席義務 会員数	出席 会員数	出席率
74名	8名	66名	43名	66.7%

メーキャップ数1枚

欠席届出者

橋本恒男 坂本雄一 浅香 匡



広聴広報委員会 岩本英人・戸谷清一・岩堀 薫

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
■事務所 埼玉グランドホテル本庄 700号  
〒367-0041 本庄市駅南 2-2-1  
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄  
Eメール [honjorc@themis.ocn.ne.jp](mailto:honjorc@themis.ocn.ne.jp)  
ホームページ  
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>